



更生保護女性会創立六十周年記念式典

**創立六十周年記念式典によせて**  
 会長 染谷登士子  
 令和五年十二月四日(月) 創立六十周年記念式典が開催されました。越谷地区更生保護女性会は、昭和三十八年十一月に創立され、今年度で六十周年を迎えました。これもひとえに諸先輩方・関係各位のご指導・ご支援の賜物と心より感謝申し上げます。  
 記念式典に於きまして、創立以来六十年の会員の方二名に特別功労賞、又十五年以上の会員の方々に感謝状、記念品の授与を行いました。  
 受章者を代表して謝辞があり、本日の感激を忘れず、安心安全なまちづくりに精進します。おことばでした。続きまして、ご多用の中、ご臨席を賜りましたご来賓の方よりご祝辞を頂きました。  
 第二部として、コンサートでは埼玉県警察音楽隊の素晴らしい演奏があり、閉会となりました。  
 当更女会が次の周年に向けて益々発展を遂げられる様尽力いたします。これからも犯罪や非行のない明るい地域社会作りに努めてまいります。  
 今後とも皆様には、ご健康にご留意頂き変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



県連盟受彰者祝賀会



1月22日(月) 越谷市中央市民会館において、顕彰伝達のつどいが行なわれました。  
 表彰・感謝状の皆様へ染谷会長より賞状が手渡されました。

顕彰伝達のこと

**令和5年度 愛の募金報告**

募金総額	1,150,600円
内訳	
○県連盟納入金	287,000円
○地区活動費	748,540円
○支部活動費	115,060円

各自治会、企業、保護司、会員及びご協力をいただいた皆様方へ厚くお礼を申し上げます。  
 ありがとうございました。

- おめでとうございます**  
 (敬称略)
- 法務大臣感謝状  
 染谷登士子
  - さいたま保護観察所長感謝状(5名)  
 坂田 庸子(越ヶ谷)、宇田 俊子(桜井)、土川 博子(増林)、長谷川壽美子(出羽)、西村 靖子(荻島)
  - 埼玉県更生保護女性連盟会長表彰(6名)  
 金谷真由美(越ヶ谷)、上原 充江(大沢)、関根とみ子(新方)、吉田美津江(増林)、石垣 節子(大相模)、上田佐和子(出羽)
  - 地域安全功労者感謝状(5名)  
 白藤 恵子(大沢)、柳川 恭子(桜井)、若井 盡子(大相模)、石塚 和子(大相模)、堀井 弘子(出羽)

**編集後記**  
 今年度は、盛り沢山の行事に役員一同でこまごまの状況でしたが、ご協力いただいた皆様に感謝・感謝の心でいっぱいです。  
 来年度も更女会の活動に精一杯努力して参りますので、どうぞ、ご協力をいただけますようお願い申し上げます。

- 令和6年度行事予定**
- 第1回役員理事会  
 4月10日(水) 中央市民会館
  - 総会・全体研修  
 5月20日(月)
  - 中央市民会館劇場  
 社明駅頭広報活動  
 7月1日(月)
  - 社明大会  
 「音楽と講演のつどい」  
 東ブロック研修会  
 9月19日(木) 草加市内
  - 矯正施設訪問  
 10月
  - 第49回市民まつり  
 10月20日(日)
  - 第71回埼玉県更生保護大会  
 11月27日(水)
  - 戸田市文化会館  
 令和7年1月
  - 新年会

### 令和5年度総会

令和5年5月15日(月)に中央市民会館劇場において令和5年度の総会を開催いたしました。総会では会員数240名中219名(内委任状158名)の出席のもと、令和4年度の事業報告・決算報告・監査報告並びに令和5年度の事業計画案・収支予算案が原案通り承認されました。今年度も新型コロナウイルスが完全に終息したわけではないので引き続き感染対策に気をつけて活動を続けてまいりたいと思います。



### 東ブロック研修会参加報告

荻島地区 松澤いさ子

令和2年に越谷地区が当番地区として開催の予定でしたが、新型コロナウイルス感染症が発生して感染拡大防止から中止になり延期が続いて、今年度4年ぶりに標記研修会が9月15日(金)残暑の中「旧日光街道が通る歴史の街」越谷に皆様をお迎えし、開催されました。



ハッキリ  
くくくく  
きききき  
大大大太  
はははは  
目耳口心足

こと」で、地域に根を張り、密着した更女会の活動描いた一枚の絵に準えて、期待すると、目からも印象に残る講話をいただきました。続いて、「あなたの笑顔がくれたもの」のビデオを鑑賞して、昼食後、午後から8グループに分かれてグループ討議を行いました。「地域を編むためのコミュニケーション」を主題に3テーマを話し合いました。

テーマ

- 一、地域との連携・協働活動
- 二、高齢者・子どもの居場所づくり
- 三、愛の募金・新しい会員の勧誘等について

その後、全体会場に戻り、各班の代表者から活発な発表がありました。



講師は、さいたま保護観察所観察官秋山百合子様より、コロナ禍で人との関わりが少なく、皆さんの顔を見ることが出来たこの研修会で、それぞれの地域で地道に工夫しながら取り組まれる更女会の活動の様子が伺えました、話されました。

地域によって活動の内容も様々ですが、地域、学校社会の中、更女会の支援活動が大切であると、学ばせていただいた研修会でした。最後に「描いた一枚の絵」ご紹介して、報告を終わります。

### 越谷地区更生保護女性会創立60周年記念式典から

令和5年12月4日(月)越谷地区更生保護女性会創立60周年記念式典が大勢のご来賓の皆様と会員の皆様にご出席いただき、「中央市民会館・劇場」において開催されました。

第一部 式典においては、越谷市長・さいたま保護観察所長・埼玉県更生保護女性連盟会長他大勢のご来賓をお招きし、開会のことばを鈴木宏子副会長から、また、染谷登十子会長の主催者挨拶から永年会員表彰へと進行して参りました。

今回は、創立当初から会員となられ貢献されている方がお二人に



(高橋眞理子様・疋野英子様)、特別功労賞が授与されました。続いて66名の方々に永年会員として感謝状が授与されました。

66名を代表して山崎美知子大袋支部長が会長より手渡され、尚、特別功労賞・感謝状の授与者を代表して謝辞を述べました。

次に、お忙しい中お越しいただいたご来賓の方々にご祝辞を賜り本当にありがたい事と感じております。

第二部では、埼玉県警察音楽隊の皆様によるコンサートが行われました。

音楽隊のプロフィール紹介のあと演奏が始まり、楽しい曲、懐かしい曲等すばらしく、ひとときの癒しの時間とさせていただき、また



会場からアンコールの声があがりアンコール曲演奏後に染谷会長からお礼の言葉と花束の贈呈が行われ、閉会のことばを浅見榮子書記が申し述べ第二部が終了となり、式典の幕が降りました。

60周年を迎え「小さな奉仕会」として活動が始まった更女会が次の世代を担う子ども達の育成を助け、犯罪をした人や非行をした少年の更生に協力し、犯罪・非行のない明るい社会をつくらうとする女性の自主的なボランティア組織として、これからも地道に活動を続けて行きたいと思っております。どうぞ、これからも皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

### 社明大会

令和5年7月3日(月)に社明大会駅頭活動が行われました。今年度は久しぶりに越谷市内を通る鉄道路線の各駅において駅頭活動ができました。

### 越谷地区保護司会新年会 受彰者祝賀会 退任保護司慰労会

令和6年1月24日(水)に福寿家に於いて新年会・受彰者祝賀会・退任保護司の慰労会が開催されました。

式典には埼玉県更生保護大会に於いて、受彰者方並びに退任保護司の方長らく地域の為にご尽力なされた方各々に記念品の贈呈がありました。



式典に続きまして祝賀会が開かれなごやかにうちに開きとなりまし

令和五年度支部活動から

桜井支部

6月18日、大里自治会の防災訓練に参加。間久里分署より通報報告、救急救命、消火器訓練、心臓マッサージ、AEDの使い方、応急処置皆様方との訓練で大変勉強になりました。7月24日、地域包括支援ネットワーク会議に参加。テーマ「自分だけは騙されないと...」思っていた。ストップ詐欺被害、今、越谷市で起きていること。生活安全課の講話。留守電にする。詐欺被害にあわないように気を付けたいと思います。11月13日、地域包括支援ネットワーク会議に参加。テーマ「認知症になっても自分らしく」オレンジカラーは認知症を応援するカラーです。(オレンジリング)令和6年2月18日、桜井地区南部防災訓練に参加。桜井南小学校で、参加人数50人で、消火・煙体験、心肺蘇生法、起震車による地震、給水それぞれの訓練に参加。防災食の提供。日頃の訓練が大事。能登半島地震を教訓に真剣に取り組みました。

新方支部

完全におさまらないコロナ禍、

感染拡大を留意しコミ協員として2名が参加。さつまいも、蕎麦等の農園事業、防災訓練、暮のクリン作戦に参加。5月には、さつまいも苗の植え付け、毎日の暑さ雨不足等で苗の生育が遅れ心配、生育時の手入れ、つる返し、秋には大きな芋が収穫、ほっかほかの蒸かし芋を皆で頂きました。10月19日新方地区文化祭、フェスタ時蒸し芋を配布皆でほおばり喜びの声、8月には、蕎麦の種まき、手入れ、11月刈り取り、懐かしい機械を使っての粉挽作業、そば打ち体験が出来ました。愛の募金等、自治会連合会、保護司会、更生保護女性会より多大な募金を頂きありがとうございます。市民まつりに当り、提案にて「あずま袋」を作り市民まつりに出店、大きな収益を上げる事が出来ました。令和6年1月30日火曜日合同視察研修、栃木県さくら市「国立きぬ川学園国立児童自立支援施設」を見学、新



方地区青少年指導員、保護司会、更生保護女性会の皆さんで見学。閑静な環境の整った施設でした。支部として皆さんの協力の元有意義に過ごすことが出来ました。増林支部 令和五年度の事業としてミニ集会和前支部長のご指導の下、九月二十七日(水)に増林地区センターにて実施。更生保護女性会の原点を学ぼうと、テーマは「越谷市更生保護事業について」サブタイトル「安全安心なこしがやを目指して」とし講師に越谷市福祉総務課中崎正隆氏をご紹介頂き開催致しました。参加者は会員十三名、センター長、越谷警察署増林駐在所高橋新様、染谷豊保護司様、中山中・前波・本田・東越谷九・十丁目の会長、副会長様。毒島美枝子越谷市青少年育成推進委員長、長玲子増林地区代表に参加頂き、毒島会長からは「家庭の日」他の普及活動について、また皆様から色々な講話やメッセージを頂きました。又当更女会から増林地区支え合い会議のリーダーとして増林地区歩こう(お散歩マップ、公園・緑道めぐり)製作にご尽力を頂いた土川前支部長・須賀恵美会員・須



賀寿美会員を紹介し拍手の中で終了。集会を通して感じた事、目指す目的が同じ団体が手を組み活動で来れば更生保護女性会として、更に幅が広がるのではと感じました。越ヶ谷支部 今年もミニ集会は開けず、愛の募金のみでしたが、各自治会さんのご理解と協力をいただきありがとうございます。公民館のコミ協まつりで若い人の演奏にエネルギーをいただき、「なつかしの映画会」で石原裕次郎の「錆びたナイフ」に往年の人達が若き日を楽しみ、ふれあいサロンで、越谷の水害についてビデオで勉強、その後非常食を試食、切り紙を楽しんで地域のみなさん、他団体の方々の交流を深めることが出来ました。これからも多くの会員さんの参加を期待します。

大沢支部

第六回大沢ふれあいフェスタが十一月十八日(土)に大沢地区センターの駐車場敷地内で開催されました。この会場で大沢更女会として新鮮な野菜を販売いたしましたところ大盛況で午前中のうちに完売となりました。



大沢更女会で支援をしている「子ども食堂沢っ子」も軌道に乗りました。地元の農家の皆さんから野菜の提供を受け活動しています。この頃は食堂から子ども達の笑い声が聞こえてくる様になりました。

荻島支部

今年度も「愛の募金活動」地域自治会の皆様のご協力を戴き実施できました。感謝申し上げます。年度明け5月から新型コロナウイルス感染症が5類に移行して、自粛していた行事等が開催される中、地区コミ協の大きい行事も4年ぶりに開催になり、支部を挙げて協力参加しました。

①夏の盆踊り大会 事前準備の会場設営(やぐら組みや提灯下げ等)に協力。当日は接待係で地域の皆様を歓待しつつ踊りにも参加。会場は開始前から大勢の人で賑

わい、暑い夏の夜祭りを大いに楽しみ、沢山の人に出会えた三日間となりました。②秋の体育大会 今年度は「午前中のみ予備なし」の日程で開催。天気良し。暑かった。③荻島公民館まつり 模擬店コーナーに、おいなりさんとカレーうどんのお店で参加。仕込みから販売まで協力いただき、全て完売!!全員総出でチームワークの良さに感動し暖かい協力に感謝しきりの一日でした。



大袋支部

更生保護女性会活動状況について、コロナの為にミニ集会も開催されず、あまり活動できませんでした。しかし、自治会の催しなどには裏方としてお手伝いさせて頂きました。たとえば、そうめん流しや、もちつき大会、カレーパーティなど、皆無料なので親子で楽しそうに食事をしている様子は、平和だなと思えば、生まれれた事に感謝です。その費用は、新聞や雑誌、

ダンボールなどを売って得たお金で賄っているそうです。しかし、当支部も高齢化しているため、若い方に入会して頂くところが悩みです。

出羽支部

出羽地区コミュニティ推進協議会の文化伝承部会のメンバーとして、更女会から2名参加しております。今年度は、出羽地区今昔物語⑦として令和5年11月2日に「元荒川・綾瀬川の歴史と現状」を題にして、現場を視察し、一冊の小雑誌にまとめあげる作業に協力しています。そして、11月19日(日)の公民館まつりでは、今まで調べあげた内容を展示・発表いたしました。また、7月24日(土)に開催した夏休み工作教室では、ペットボトルのかざぐるま・びんアート・エコたわし・葉脈のしおりは、昨年よりも参加者が多く賑いました。特にお父さんの姿が目立ったことに喜びを感じました。これからも地域の方々とのふれあいを大切にしていきたいと思っています。

大相模支部

2月17日地区センターにおいて青少年指導員協議会主催の講演会「生涯を生き抜くための基盤は体験活動」に、初めて参加しまし



た。赤ちゃんが生まれ、両親からの愛情をうけ、母乳を飲み、こころよい眠りに入るとい生活が体験でき、しだいに五感(視・聴・触・味・嗅)が発達し、知的好奇心が旺盛になり、活動的になります。また成長につれ、家庭親元から離れて、幼稚園、小学校へと、活動する環境が広がり、人とのかわりも増えふれ合う楽しみ、興味愛情をもちコミュニケーションもつけていきます。子ども達が成長する段階で、家庭でのかかわり方、ことばかけがいかに大事なことから、その体験一つ一つが知識や力(自信)になり、集団社会の中で、活動・行動ができるようになります。講師の石塚忠男先生には、貴重なお話しをありがとうございました。これからは、子ども達のかかわりを大事にし、日々の生活を楽しみ、子ども達の成長を見守りたいです。



**市民まつりに参加して**

10月22日(日)、今年は市民会館、元荒川の土手、旧日光街道、越ヶ谷小学校で行われ、更女は旧道で会員の方々の手作り品や献品を販売しながら、買物をして下さる多くの方達と交流、会員さんも多勢来て下さり久々の再会に笑顔。品物もたくさんお買上げ戴き九万五千二百九十円、楽しい一日でした。晴天に恵まれ、事務局の方がテントも張って準備して下さいました。ありがとうございました。



**第70回埼玉県更生保護大会**

埼玉県更生保護大会が令和5年11月22日(火)、戸田市文化会館において開催されました。本年度もコロナ感染対策を踏えて参加者の規模を縮小して行われました。

今回は式典の前に「社会を明るくする運動」再犯防止啓発の映画鑑賞がありました。

本年度も更生保護女性会から顕彰では法務大臣感謝状、日本更生保護女性連盟会長表彰の方、又各地区会長の方々が参加されました。感謝状、表彰の受彰者の方に伝達されました。

続きまして、ご来賓の方からのご祝辞を頂き又、多数の方々より祝電のご披露があり閉会となりました。

**中堅会員研究協議会に参加して**

長野 良子

令和5年11月7日、さいたま共済会館にて開催。越谷地区から染谷会長他2名が参加しました。県連青木会長、さいたま保護観察小林所長のご挨拶後、一般社団法人日本更生保護連盟理事長千葉景子氏による講演がありました。「埼玉の洪沢さん」一万円札いいネ。居場所、出番づくりは私たちが継いでますヨ」演題。洪沢氏は、徳川家に仕え、留学し、功績を築き、企業、銀行、社会福祉等社会を発展させました。

令和6年度より、洪沢栄一氏の一万円札に切替わります。洪沢氏は人間として困っている人を助けて子育て支援が出来る社会。地域の人、行政と連携しながら、皆で支えあって楽しい生活を継続出来る社会を目指しました。その後中央研修川口地区中牟田雅子氏、関東地方研修深谷地区田口夏子氏、二名の報告がありました。

更女活動の推進に向けて安全、安心な地域づくりで人とのふれあいでのびのびとした社会生活が出来る事を願っています。



を願っています。

**清心寮を訪問**

令和5年12月14日(木)に支援金としてお届けしました。

当日は、更生保護法人「清心寮」の清水義恵理事長及び西村穂施設長にお会いできました。



**更生保護女性会**

代表者実務研究会に参加して

平川 好子

令和6年2月20日・21日と長瀬・長生館において埼玉県内の更女会代表者実務研究会に、今回は二名参加ということで、会長代理として私がそしてもう一名、浅見榮子さんが出席いたしました。

20日(火)受付は12時から、開会には13時。13時20分から講話「更生保護女性会に期待すること」をさいたま保護観察所長・小林孝幸様からのお話しがありました。

休憩・移動があり14時30分からブロック別研究協議会を16時20分まで、東西南北に分かれて行なわれ、東ブロックの11地区も出された協議事項に沿って進められました。この場では、司会者、書記、発表者が決められ、次のブロック別研究協議会発表の場で報告されるため、各地区からは熱心に意見が出され、皆さん真剣に対応していることに感動いたしました。

休憩・移動の後、16時30分〜17時10分までブロック別の協議事項のまとめを発表し、それに対して講評(感想)を秋山百合子さい

ま保護観察所観察官からいただき一日目の研修は終了となりました。18時からの懇親会も、同席となった方々とも和気あいあいと楽しく食事ができました。

二日目は、9時から日更女の研修報告を青木県連盟会長から、関更女の研修報告を熊谷地区から、県連盟研修報告を羽生地区から、それぞれ報告がありました。

休憩をはさんで、第六回理事会有り、会長以外は、オブザーバーとして同席させていただきました。11時30分閉会となり、二日間の研修は終了となりました。

第一日目は、天候も、まるで初夏を思わせる陽気でしたが、二日目は一変して、真冬に戻ったかのような寒い日となりましたが越谷に着くまで傘もささずに済んだのが幸いでした。

貴重な体験をさせていただき感謝申し上げます。

